



香林雜木抄目錄

戀

初志

忍志 法歌十七号

未對面志

凌文志

祈志 法歌十五号

契志 法歌廿三号

馮志 法歌八号

不言志 法歌九号

不聞志

身志 法歌九号

書 并返事法歌十九号

誓志 法歌二号

馴志

詭志

言出志 法歌六号

聞志 法歌十二号

白地志

辱志 法歌十一号

精進志 法歌三号

一不志



香林雜木抄目錄

疑忘 姑號六号

不逢忘 姑號七号

返連串忘 姑號一號

不來忘

來無實忘

不來忘 姑號一號

過門忘

過不告忘

過門不入忘

不閉門忘

立門空曠忘

透物忘 姑號三號

偽忘 姑號四号

侍忘 姑號七号

透忘 姑號八号

逢無實忘

久卧無實忘

諸忘 姑號五号

別忘 姑號十二号

歸忘 姑號五号

後朝忘 姑號七号

逢不遇忘

別後會難忘

一會後不合忘

絕不逢忘

与君後會如何日

名 姑號九号

歌忘 姑號七号

增忘 姑號七号

切忘 姑號二號

賦忘 姑號六号

悔忘 姑號四号

味忘

變忘 姑號四号

催忘 姑號三號

驚忘 姑號二號

罕忘

負忘

妨忘 姑號六号

被嫉妬忘

隱忘 姑號七号

稀忘 姑號五号

久忘

舊忘

遠忘

近忘

隔忘 姑號十号

知 姑號六号

占忘

片思 姑號五号

思 姑號十二号

忘忘 姑號八号

恨忘 姑號十九号

絕忘 姑號十号

忘天象

忘地儀

忘雜物

忘前無人

忘兩 忘記三

忘中 忘記三

忘月忘

忘月 忘記八

忘 忘記七

忘朝

忘昼

忘夕 忘記二

忘年忘

忘春 忘記七

忘夏 忘記五

忘秋 忘記九

忘冬 忘記七

忘曉

忘夜 忘記十

忘山 忘記二

忘國 忘記二

忘行路忘

忘河 忘記二

忘海 忘記五

忘故心忘

忘山 忘記三

忘室 忘記

忘旅 忘記五

忘旅泊曉忘

忘隔我 忘記

忘秘知音忘

忘忘取傍案

忘秘後者忘

忘思高忘 忘記三

忘等思 忘記

忘兩方忘

忘思三人忘

忘障忘 忘記二

忘老忘 忘記四

忘幼忘

忘依忘被誘人

忘人傳忘

忘被慰人忘

忘不悖人自忘

忘稱他人忘

忘聞謔他人忘

忘近隣忘 忘記三

忘對泉忘人

忘人忘我

忘忘不依人

忘競人忘

忘寢人忘人

忘忘忘前人

忘忘東西人

煙過女談

色隣女

色控女

下女色

被控色

思極媒色

色令

色不離男

恥男色

色情

色其又色

色淚

色聲

色号

寢覺色

色歌

色餘服

貪色

樂色

難体色

色鬢

欲盜色

馬と色

色硯

舟色

色長短

色終

歌林雜木抄

戀

あやめおれ

あやめおれはうらなれておのちもさひかたき

あやめおれ

あやめおれはうらなれておのちもさひかたき 伊人恋

あやめおれ

あやめおれはうらなれておのちもさひかたき

あやめおれ

あやめおれはうらなれておのちもさひかたき

あやめおれ

あやめおれはうらなれておのちもさひかたき

あやめおれ

あやめおれはうらなれておのちもさひかたき

あやめおれ

あやめおれはうらなれておのちもさひかたき

あやめおれ

あやめおれはうらなれておのちもさひかたき

今うらうらぬ

日 くらとまゝの又もさるるまゝや今うらうらぬ世の甘美は人か

我通路の字

日 人あれぬら通路の字さふひくよとて井も好かんかうい

とのう衣と衣

日 三つんくまかりん

いひおなほひ

日 志のらりやうくと物りどのう衣と衣と出た 日 人

下ゆきひひ

日 花着ちよてさひひかたかひよおひの法おれとさう

泣きさ

日 かなさゝる洞又社のそはらぬとさうと 日 杖 杖のさ

人ちつこ

日 人ちつこいと道よとせうい

あかき

日 ちつこい

あかき

日 あかき今もさうとさうと密乃地ちよさう大和様子日

あまの位

日 あまの位里乃志とさういふとさういふとさういふと

里の志

日 志乃位里の志とさういふとさういふとさういふと

下紐のしけ

日 下紐のしけ人ちつこいとさういふとさういふと

りつじ

日 りつじとさういふとさういふとさういふと

雲もかく

日 雲もかく今もさうとさうと密乃地ちよさう大和様子日

手枕の志づく

日 手枕の志づく今もさうとさうと密乃地ちよさう大和様子日

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

志の程

日 志の程とさういふとさういふとさういふと

夏の侍

夏の別名

つづつづ

いじご

とちゅう枕

いづりのちま

神りしむ

あまのうら

うららのえ

ひくつ神

人の枕

有忠 夏もれとて寝まはるるは夏のむけ

持る物 あつとて寝るは夏のむけ

信実 あつとて我りしむ

信実 あつとて侍るは夏のむけ

信実 いづりあひら寝るは夏のむけ

朝平院 人の寝るは夏のむけ

信実 いづりのちま

信実 神りしむ

信実 あまのうら

信実 うららのえ

信実 ひくつ神

信実 人の枕

又夏の侍

夏の別名

つづつづ

いじご

とちゅう枕

いづりのちま

神りしむ

あまのうら

うららのえ

ひくつ神

人の枕

信実 又夏の侍

信実 夏の別名

信実 つづつづ

信実 いじご

信実 とちゅう枕

信実 いづりのちま

信実 神りしむ

信実 あまのうら

信実 うららのえ

信実 ひくつ神

信実 人の枕

いづま

若くは人といふれとえよけれぬ

かきりて

かきりてはひひと拵て各々こころはしとえと

ひそてあま

大なるの川にあらんはぬれはとえ社教まうり

ひそりま

七十八年又まあひらるる我八年又まあひらるる

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

かきりて

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

あま草の

若くはあま草のあま草

・さひねの夏・夏の西氣・夏のくひら・さても程れくふ家
 ・うさぎの文・くれめえと好・懐くぬ賢・りちりちささこ
 ・あゝの世の賢・そごのめ・人のち・ち事と賢・りさか
 ・ちさりくらせぬ・中のちさり・あらぬさひ・さ衣・郭枕
 ・あゝ娘ささ・急くて・りよふん・こひよる・おひあまり
 ・ひとりねの茶・あゝの茶・なまのささ・あゝ人・ささ
 ・つれなき人・さねぬさひ・あまの春・さぬ中・独りねん
 ・さささささ・急つごさる・急さる・急さる・急さる
 ・りよふん・りよふん・りよふん・りよふん・りよふん
 ・さひささささ・ささささ・ささささ・ささささ・ささささ
 ・ささささ・ささささ・ささささ・ささささ・ささささ

とよ及波号

初魚

悪不言魚
 虫不言魚
 不言虫魚
 未言虫魚
 欲言虫魚
 欲出詞魚
 難言虫魚
 親身不言魚
 不言在虫魚

子歌
 悪不言魚
 虫不言魚
 不言虫魚
 未言虫魚
 欲言虫魚
 欲出詞魚
 難言虫魚
 親身不言魚
 不言在虫魚

此情也慰意也集人の情てつらつら文とよきとていふことあり

商人付文也 乳あまのまことつてくおれと送る

此返す 人の返すをいれ文字もかき紙とていふことあり

無字也 後ちとわらわさうと申すもせむ神も

交く返す 飛送りおれの返すといふことあり

適此返す也 日比つらつらつらつていふことあり

初見返す也 初あまのまことつてくおれと送る

三年不返也 ながさうりのおれとてはたふの丁のまこと

落返す也 日 このまことつてくおれとてはたふの丁のまこと

失返す也 日 返しておれまことつてくおれとてはたふの丁のまこと

返す也 人の初こつていふ後文ありやと信ても文とつらつら

千代 別つはさのまことつていふことあり人のいふこと

字も返す也 飛集人の名とていふことあり

初返す也 日 あらうらんとていふことあり

不返す也 日 このまことつていふことあり

初返す也 日 人の初こつていふことあり

不返す也 日 人の初こつていふことあり

初返す也 日 人の初こつていふことあり

不返す也 日 人の初こつていふことあり

初返す也 日 人の初こつていふことあり

不返す也 日 人の初こつていふことあり

初返す也 日 人の初こつていふことあり

愛賢色

賢行末色

賢女世色

賢後世色

賢来世色

賢他生色

賢取色

賢後德色

賢定色

賢強色

賢中賢色

これ又情なる世にありやと人なり末も由とありぬ 尚友集

令あつたをそむせけんり末とふに海もあはれなり 海子集

お世の賢のつれとてさうめんり 教養

おしこもいひてくひをささの世と今の賢を教を 小信後

日とるれよ賢ならせぬおがうに枝うとさたのとり 意法

あはれよ賢なるそ後の世と賢さひあつた 後集

よつてもおむむことのたうて生れあはれ 後集

賢物とて後取られ 後集

賢物とて後取られ 後集

賢物とて後取られ 後集

賢物とて後取られ 後集

賢少人色

幼年賢色

老後賢色

別色

一不色

不色

不色色

不色言色

不色媒色

不色来色

賢少人色 政為

幼年賢色 作意

老後賢色 賢

別色 賢

一不色 賢

不色 賢

不色色 賢

不色言色 賢

不色媒色 賢

不色来色 賢

明心見性

心わらぬれこひいれと疑てく明心見性とまると疑 疑心

每夜夢見

毎夜夢見物して来じ 疑心

清明後自念

清明後自念 疑心

他念

我れと云ふ人よつと云ふ人よと云ふ人よと云ふ人よ 疑心

疑心

疑心 疑心

相与疑心

人よと云ふ人よと云ふ人よと云ふ人よと云ふ人よ 疑心

疑真偽心

疑真偽心 疑心

疑真心

疑真心 疑心

成疑心

成疑心 疑心

疑行末念

疑行末念 疑心

不逢心

不逢心 疑心

不遇心

不遇心 疑心

不遇心

不遇心 疑心

依思難逢心

依思難逢心 疑心

近不逢心

近不逢心 疑心

見不逢心

見不逢心 疑心

雖見不逢心

雖見不逢心 疑心

訓不逢心

訓不逢心 疑心

凡在不安心

凡在不安心 疑心

疑不安心

疑不安心 疑心

詞不逢意

人の詞なりてはかひなくまじくして其の意をいふべし

答言不逢意

人の言に答ふに意をいふべし

劣不逢意

劣る言に劣る意をいふべし

偽不逢意

偽る言に偽る意をいふべし

来不逢意

来る言に来る意をいふべし

久来不逢意

久来る言に久来る意をいふべし

通不逢意

通る言に通る意をいふべし

不逢序意

不逢の序意をいふべし

福物不逢意

福物の不逢意をいふべし

並床不逢意

並床の不逢意をいふべし

恨不逢意

恨む言に恨む意をいふべし

返迎車意

返迎車の意をいふべし

不来意

来ぬ言に来ぬ意をいふべし

来不意

来ぬ言に来ぬ意をいふべし

来不意

来ぬ言に来ぬ意をいふべし

来不意

来ぬ言に来ぬ意をいふべし

来不意

来ぬ言に来ぬ意をいふべし

来不意

来ぬ言に来ぬ意をいふべし

来不意

来ぬ言に来ぬ意をいふべし

来不意

来ぬ言に来ぬ意をいふべし

侍不束也

其 便者乃相とむれと真侍彼立たるもさうも其者乃相改

途後侍也

其 途後侍と云う人の申後後々々いひ侍んし 大勢に

逢也

其 逢也又云ふり歌くん侍んしと云ひ侍り 大勢に

初逢也

其 初逢也と云ふは初逢は初逢なり 法下長辞

俄逢也

其 俄逢也といふは俄逢は俄逢なり 法下長辞

不逢也

其 不逢也といふは不逢は不逢なり 法下長辞

愚逢也

其 愚逢也といふは愚逢は愚逢なり 法下長辞

侍遇也

其 侍遇也といふは侍遇は侍遇なり 法下長辞

新逢也

其 新逢也といふは新逢は新逢なり 法下長辞

毎月逢也

其 毎月逢也といふは毎月逢は毎月逢なり 法下長辞

曉逢也

其 曉逢也といふは曉逢は曉逢なり 法下長辞

毎晝逢也

其 毎晝逢也といふは毎晝逢は毎晝逢なり 法下長辞

赤集

叱咄今遇

其 叱咄今遇といふは叱咄今遇なり 法下長辞

幼者逢也

其 幼者逢也といふは幼者逢は幼者逢なり 法下長辞

若原逢也

其 若原逢也といふは若原逢は若原逢なり 法下長辞

逢者有妨也

其 逢者有妨也といふは逢者有妨は逢者有妨なり 法下長辞

隔一也逢也

其 隔一也逢也といふは隔一也逢は隔一也逢なり 法下長辞

隔也逢也

其 隔也逢也といふは隔也逢は隔也逢なり 法下長辞

途後逢也

其 途後逢也といふは途後逢は途後逢なり 法下長辞

今後逢也

其 今後逢也といふは今後逢は今後逢なり 法下長辞

侍後逢也

其 侍後逢也といふは侍後逢は侍後逢なり 法下長辞

後逢也

其 後逢也といふは後逢は後逢なり 法下長辞

不語隱也

割也

欲割也

急割也

忘割也

忠割也

情割也

嗜割也

深更割也

不語隱也 割也 欲割也 急割也 忘割也 忠割也 情割也 嗜割也 深更割也

不語隱也 割也 欲割也 急割也 忘割也 忠割也 情割也 嗜割也 深更割也

不語隱也 割也 欲割也 急割也 忘割也 忠割也 情割也 嗜割也 深更割也

不語隱也 割也 欲割也 急割也 忘割也 忠割也 情割也 嗜割也 深更割也

不語隱也 割也 欲割也 急割也 忘割也 忠割也 情割也 嗜割也 深更割也

不語隱也 割也 欲割也 急割也 忘割也 忠割也 情割也 嗜割也 深更割也

不語隱也 割也 欲割也 急割也 忘割也 忠割也 情割也 嗜割也 深更割也

恨別也

遠別也

急喚割也

深更呼也

五中呼也

後門呼也

喚不呼

忠呼也

後割也

欲後割也

後割也

恨別也 遠別也 急喚割也 深更呼也 五中呼也 後門呼也 喚不呼 忠呼也 後割也

恨別也 遠別也 急喚割也 深更呼也 五中呼也 後門呼也 喚不呼 忠呼也 後割也

恨別也 遠別也 急喚割也 深更呼也 五中呼也 後門呼也 喚不呼 忠呼也 後割也

恨別也 遠別也 急喚割也 深更呼也 五中呼也 後門呼也 喚不呼 忠呼也 後割也

恨別也 遠別也 急喚割也 深更呼也 五中呼也 後門呼也 喚不呼 忠呼也 後割也

恨別也 遠別也 急喚割也 深更呼也 五中呼也 後門呼也 喚不呼 忠呼也 後割也

恨別也 遠別也 急喚割也 深更呼也 五中呼也 後門呼也 喚不呼 忠呼也 後割也

後新切意

後新隱意

後新恨意

山家後新意

逢不遇意

別後含難意

一今後含意

終不逢意

与君後含

久立意

款久意

後新切意日 後新切意はよくその後の切やがわたり

後新隱意日 後新隱意はよくその後の隠やがわたり

後新恨意日 後新恨意はよくその後の恨やがわたり

山家後新意日 山家後新意はよくその後の山家やがわたり

逢不遇意日 逢不遇意はよくその後の逢不遇やがわたり

別後含難意日 別後含難意はよくその後の別後含難やがわたり

一今後含意日 一今後含意はよくその後の一今後含やがわたり

終不逢意日 終不逢意はよくその後の終不逢やがわたり

与君後含日 与君後含はよくその後の与君後含やがわたり

久立意日 久立意はよくその後の久立やがわたり

款久意日 款久意はよくその後の款久やがわたり

款空名意

惜人名意

不知名意

隱名意

隱名切意

改名隱意

惜名意

款名意

款名意

依倭款意

款空名意日 款空名意はよくその後の款空名やがわたり

惜人名意日 惜人名意はよくその後の惜人名やがわたり

不知名意日 不知名意はよくその後の不知名やがわたり

隱名意日 隱名意はよくその後の隱名やがわたり

隱名切意日 隱名切意はよくその後の隱名切やがわたり

改名隱意日 改名隱意はよくその後の改名隱やがわたり

惜名意日 惜名意はよくその後の惜名やがわたり

款名意日 款名意はよくその後の款名やがわたり

款名意日 款名意はよくその後の款名やがわたり

依倭款意日 依倭款意はよくその後の依倭款やがわたり

守出の増色 赤梅 いづれの枕は思ふにわらうものあらずあはれ世は多かり
 出たの増色 日 ねじり梅の神の家におけりしときの新入の意は
 見書増色 れ 人の文とてこの増色
 見返増色 日 人の文とてこの増色
 遇後増色 揚子 人の文とてこの増色
 極香増色 日 人の文とてこの増色
 軍器増色 赤梅 人の文とてこの増色
 思愛増色 日 人の文とてこの増色
 言初後増色 日 人の文とてこの増色
 切色 れ 人の文とてこの増色

思出切色 れ 人の文とてこの増色
 狀悲 れ 人の文とてこの増色
 被狀色 れ 人の文とてこの増色
 狀身色 れ 人の文とてこの増色
 受形狀色 れ 人の文とてこの増色
 被狀後色 れ 人の文とてこの増色
 思後世狀色 れ 人の文とてこの増色

物色

お茶のいとは物色といふ

後物色

れ 打ちもひかきわたり我思ひの肉をひつゝとて 恒位 女

恨物色

千人いふと恨物色といふ

後物色

うれそいふとせんとも海軍の佐官の志とて 初見 物色

味色

日 うちの中のおもひとて 物色

色色

あはれとて 物色

物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

恒位 女

凡物色

れ 凡のいふとて 物色

物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

有物色

れ 必あつんと物色といふ 物色

久遠

舊

遠

近

隔

海

海

海

海

千尋と林も今つらつらに階をさびる旅の本格 作意
おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

音多しと息と大御心ひくくくく

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

海

海

海

海

海

海

海

海

海

海

凡雅 ちかくて又明かきよ二程をさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

おのつらつら年々のあはれをさびるはの多き元 ちと天々

物珠後心

是の人の心は初の花ごとくしりり今も花や
千秋我の心も

晝夜心

晝夜をわたりて心はしりり
心はしりり心はしりり

思出心

思出の心はしりり心はしりり
思出の心はしりり心はしりり

思世心

思世の心はしりり心はしりり
思世の心はしりり心はしりり

觸事心

觸事の心はしりり心はしりり
觸事の心はしりり心はしりり

思家心

思家の心はしりり心はしりり
思家の心はしりり心はしりり

忘心

忘心の心はしりり心はしりり
忘心の心はしりり心はしりり

欲心

欲心の心はしりり心はしりり
欲心の心はしりり心はしりり

物珠後心

物珠後の心はしりり心はしりり
物珠後の心はしりり心はしりり

被忘心

被忘の心はしりり心はしりり
被忘の心はしりり心はしりり

無忘心

無忘の心はしりり心はしりり
無忘の心はしりり心はしりり

難忘心

難忘の心はしりり心はしりり
難忘の心はしりり心はしりり

被忘後心

被忘後の心はしりり心はしりり
被忘後の心はしりり心はしりり

忘久心

忘久の心はしりり心はしりり
忘久の心はしりり心はしりり

忘位心

忘位の心はしりり心はしりり
忘位の心はしりり心はしりり

恨心

恨心の心はしりり心はしりり
恨心の心はしりり心はしりり

怨心

怨心の心はしりり心はしりり
怨心の心はしりり心はしりり

無恨心

無恨の心はしりり心はしりり
無恨の心はしりり心はしりり

恨心

恨心の心はしりり心はしりり
恨心の心はしりり心はしりり

憂鬱終焉

憂鬱の心とて終るなり憂鬱とて中絶するなり

不恨終焉

不恨の心とて終るなり不恨とて中絶するなり

既後終焉

既後の心とて終るなり既後とて中絶するなり

終後終焉

終後の心とて終るなり終後とて中絶するなり

終不忘焉

終後の心とて終るなり終後とて中絶するなり

終不知焉

終後の心とて終るなり終後とて中絶するなり

終終年焉

終後の心とて終るなり終後とて中絶するなり

再終焉

終後の心とて終るなり終後とて中絶するなり

終後形分

終後の心とて終るなり終後とて中絶するなり

惘人終焉

惘人の心とて終るなり惘人とて中絶するなり

悲天象

天象の心とて終るなり天象とて中絶するなり

悲地儀

地儀の心とて終るなり地儀とて中絶するなり

悲雜物

雜物の心とて終るなり雜物とて中絶するなり

尙前終焉

尙前の心とて終るなり尙前とて中絶するなり

悲雨

雨の心とて終るなり雨とて中絶するなり

雨中終焉

雨中の心とて終るなり雨中とて中絶するなり

物雨霽

物雨の心とて終るなり物雨とて中絶するなり

芳中色

雲中色人

鏡月色

色月

月影色

月影色

月影色

月影色

月影秋後

月影侍色

日 かくれしるぬ芳の中よ人の色

日 なるしむしめしるぬ乃社芳まいつとひのちあはれ

日 うきくじ夕の雲みせさしとらえをなま通ひも定ぬ

日 あらぬのちやうりいふれまゐるかこつたはと

日 凡れ色のかと月よせていふ

日 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

日 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

日 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

日 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

日 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

月影別色

月影更色

月影催色

月影賦色

月影情色

月影及色

月影欲色

月影船中色

月影色

月影色

月影色

新本 かくれしるぬ芳の中よ人の色

新本 なるしむしめしるぬ乃社芳まいつとひのちあはれ

新本 うきくじ夕の雲みせさしとらえをなま通ひも定ぬ

新本 あらぬのちやうりいふれまゐるかこつたはと

新本 凡れ色のかと月よせていふ

新本 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

新本 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

新本 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

新本 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

新本 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

新本 ちかしくも乃社をくといふ乃とくく女を婦と云

夕之出也

善也

見有坊也

慈依有坊

月有坊也

月有坊也

月有坊也

月有坊也

月有坊也

月有坊也

月有坊也

れ 夕の光をいひてはる後の夕まをいふ人もいふれ 後常也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也 善也

見有坊也 見よ坊をいふて我々の坊と云ふ月の光をいふ 善也

慈依有坊 慈依ありていふの坊也 善也

月有坊也 月有る所の坊也 善也

月有坊也 月有る所の坊也 善也

月有坊也 月有る所の坊也 善也

月有坊也 月有る所の坊也 善也

月有坊也 月有る所の坊也 善也

月有坊也 月有る所の坊也 善也

月有坊也 月有る所の坊也 善也

李有坊也

李の坊也 善也

善也

善也

善也

善也

善也

善也

善也

善也

善也

善也

善也

善也

善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

善也 善いなりと云ふ所の善なるなりと云ふれ 善也

七夕色

日暮のほろろの星をまきまきてけ方の色をいふ

秋夜色

いづれも海をわたるをいふ人のこゝろをいふは秋夜色

秋別色

秋の別れをいふは秋夜色

秋夜待色

秋の夜を待つ色

秋厭色

秋の別れをいふは秋夜色

秋夢色

秋の夢をいふは秋夜色

秋夜待色

秋の夜を待つ色

冬色

冬の色

初冬色

初冬の色

冬夜色

冬夜の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

冬夜色

冬夜の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

冬来色

冬来の色

老後如人色

老後の志人の如くもやうか

通才

得老年色

我々の年をあれは色もあつて人よりうらやましく
菊乃房ひつとひは清なりと老をせうとせうとせうと
吟松院

幼色

童の如くもあつて人よりうらやましく

不悖人自色

人自の如くもあつて人よりうらやましく

依色被語人色

依色の如くもあつて人よりうらやましく

人傳色

人の傳の如くもあつて人よりうらやましく

彼慰人色

彼を慰むる人の如くもあつて人よりうらやましく

称他人色

他人を稱する人の如くもあつて人よりうらやましく

聞談与人色

聞談する人の如くもあつて人よりうらやましく

近隣人色

近隣の人の如くもあつて人よりうらやましく

近隣色

近隣の人の如くもあつて人よりうらやましく

對泉人色

對泉の人の如くもあつて人よりうらやましく

色自我人

色自の人の如くもあつて人よりうらやましく

人色我

人の色を我の如くもあつて人よりうらやましく

色不依人

色不依の人の如くもあつて人よりうらやましく

競人色

競人の如くもあつて人よりうらやましく

寢人色人

寢人の如くもあつて人よりうらやましく

色を人

色を人の如くもあつて人よりうらやましく

附木

四十一

恋東西人

恋東西の人と恋ふは

戀名女漢

いづれを愛ふかたしとてまればかたは世の事なり
日 うつと大乃あそむまじかとおこしめし

恋隣女

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

恋下女

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

被控賊恋

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

名極妹恋

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

懸命恋

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

恋命

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

款代命恋

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

恋不離分

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

恥分恋

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

恋情

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

通心恋

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

不叶恋

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

非心恋

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

恋又喜

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

恋深

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

恋夢

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと

あつとあやあは格好つらむと見よとてまじらむと
日 恋はかたは世の事なりとてまじらむと見よとてまじらむと



